

様式B

令和2年度 幼稚園 ゆめプラン評価公表シート

和歌山市立山口幼稚園

教育目標 心身ともにたくましい子供を育てる

ゆめ	重点目標	具体的取組	取組の状況
<p>「やってみよう!」「おもしろそう!」「まだまだできるよ!」が盛りだくさんの楽しい幼稚園!</p>	<p>多様な経験を通して、主体的に関わって活動する子供を育てる</p>	<p>夢よく最後まで頑張る子供</p> <p>主体的に遊ぶ環境作り</p>	<p>子供たちの興味関心を探りながら、子供たちが主体的に取り組めるように、常に職員間で話し環境を見直した。子供を見ていると毎日、園に来て何をするか目的をもって登園する子供が多くなってきたように思う。</p>
		<p>自然遊びなどの直接体験</p>	<p>四季折々、季節の移り変わりを体感できるよう、工夫してきた。子供たちは虫や草花など、季節によって違うことに気づいたり、四季の変化や自然の美しさ・不思議さにふれていた。</p>
		<p>自立心を育む</p>	<p>子供たちの考えをしっかりと聞き、自分たちで遊びを作っていく様子を見守り、満足感や達成感を味わえるよう支援や援助をしてきた。</p>
		<p>心豊かに人と関わる子供</p> <p>心を育てる</p>	<p>子供たちの思いをしっかりと受け止め、自己肯定感がもてるように援助してきた。また、自分の思いを出せるように、様子を見ながら見守ったり、一緒に考えたりしてきた。</p>
		<p>異年齢交流(地域・高齢者・小学校・未就園児)</p>	<p>園内の子供同士の交流は遊びの中で自然と出来ていた。しかし新型コロナウイルス感染症のため、地域の人や高齢者との交流は出来なかった。未就園児や小学校との交流は、感染予防に努めながら、交流することが出来た。</p>
		<p>健康な心と体を作る</p> <p>健康で安全な生活に必要な習慣や態度を育む</p>	<p>環境の見直しをしながら、子供たちが伸び伸びと活動できるよう、援助してきた。全職員で子供を見ていくというスタンスで今年度も取り組んできたためか、子供たちは安心して活動することができていた。その安心感が健康な心と体につながっていると思う。</p> <p>発達段階に応じて、新型コロナウイルス感染症予防に向けて手洗い、消毒の大切さを伝え、子供たちが元気に過ごせるよう援助してきた。</p>

保護者アンケート集計結果の比較から見えてきた成果や課題

全体的に、肯定的な評価が多かった。昨年度は教育目標を保護者に伝えるという設問①で、あまり思わないや思わないという回答があったので今年度は毎月の園だよりに教育目標を載せるようにした。設問⑥の小学校との交流では、コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、小学校との交流を持つことが出来た。その結果、昨年度はあまり思わないという回答があったが、今年度は肯定的な評価だった。ただ、少人数(32人中1人か2人)ではあるが、幼稚園全体についての、設問④⑪⑬⑮、おさま一人一人についての設問③⑤⑥では、あまり思わないという回答が、幼稚園全体の設問⑨では思わないという回答があった。コロナの中で出来ないこともあったが、保護者の方は、園の行事や地域環境を生かした活動(田植えや稲刈りなど)や家庭では味わえないダイナミックな遊びを望んでいることがアンケートから読み取れた。

今年度の取組の成果と課題・今後の改善方策

今年度は、新型コロナウイルス感染予防をしながら、その中で出来ることを考え取り組んできた。子供たちの遊ぶ姿から、環境を見直し、子供たちが「やってみよう」「おもしろそう」「まだまだできるよ」と主体的に関わって活動できるようにしてきた。また、行事についても、見直しをしてきた。保護者の方から、四季折々の行事で、貴重な体験をしていただいたという意見を頂いた。今年度は子供たちの遊びの姿から、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」がどのように結びついているかクラス便りや掲示板などで発信してきた。これからも子供の学びを可視化し発信していきたい。また、子供たちの興味関心を探りながら、日々の保育を見つめ直し、子供たちが主体的に活動できる時間の確保や環境を見直していきたい。

学校関係者評価委員による自己評価の検証

教育目標に園だよりで書き込むことは素晴らしい。毎月読んでいると自然に覚えてくれると思う。園児も教職員の方々も挨拶・礼儀等もよくコミュニケーション能力がある。幼稚園の前の田んぼを借りて、田植えや稲刈りの体験ができることは心も体を養うのに適している。いい直接体験ができていると思う。感染症対策をきちんとし、いろいろな行事を行っているの、保護者の方も喜んでくれている。園長先生はじめ教頭、教職員の方々の明るさで、園児も伸び伸び活動している。